

行政評価委員会 委員からの意見・要望等

(1) 実施日 令和4年11月8日(火)

(2) 行政評価委員 当日出席者 古川智史委員長(松本大学総合経営学部専任講師)、上條典泰副委員長(松本ハイランド農協朝日支所代表理事)  
大井浩之委員(八十二銀行塩尻支店長)

(3) 提案・意見・質問は、以下のとおり

NO.	施策	施策内容	項目	評価委員からのコメント	担当課	村の考え方・回答(案)
1	4-1	未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います	質問	コロナ禍により、不登校児が増加の事例も増えてきているという。朝日村としてこういったことへの対応はどうしているのか。	教育委員会	全国的に不登校児が増加傾向にはある。朝日小もいないわけではないが、増加しているわけではない。中学校においては、朝日の子どもにおいて増えてきている現状はある。
2	4-1	未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います	質問	コミュニティスクール等の地域の支援とはどういったことでしょうか。	教育委員会	地域の支援として、信州型コミュニティスクールを実施していた。今年度からは、文科型に切り替え、「学校運営協議会」を立ち上げ、地域の方も含めて運営方針等を検討していく体制を構築した。
3	4-1	未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います	質問	成果指標の学校と地域の連携した事業については、コロナ禍の影響を受けたものか。保育園については。	教育委員会	R2.R3は小学校にボランティアが入れなかったのが実情。保育園は、再度確認する。
4	4-1	未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います	質問 意見	小学校でのコロナ感染状況について、コロナに対する理解も深まってきていて、イベントや行事等も行っていてもよいのでは。今後はどういった対応をしていくのか。	教育委員会	大きく学級閉鎖となるような状況にはならなかった。オミクロン株になってからは、親から子供への感染が増えている。今年になって感染が増えてきた。今後、感染対策を取りながら行事を行っていく。
5	4-1	未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います	質問	小学校に対する満足度については、先生からの評価も含まれているのか。	教育委員会	保護者・子ども・教師からも満足度をとっている。保護者と学校とコミュニケーションが比較的取れていることが高い数値となっている一因ではないか。
6	4-1	未来の村を担う子どもたちの生きる力を育む教育を行います	意見	中学生の学習教室利用者数が、目標値の20人を早々に達成できた理由は。	教育委員会	国・県の補助金を活用。村の先生OBや、信州大学生を派遣するための費用としている。村内に民間の学習塾がなくそのフォローとして設置。見込みが不透明の状況での目標設定だったが、認知度も高まり達成へと至った。

NO.	施策	施策内容	項目	評価委員からのコメント	担当課	村の考え方・回答（案）
7	4-1	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	意見	今まで以上に、コロナ禍で厳しい時代の中、収入減少世帯の児童・生徒に、塾や運動クラブの負担金の支援拡大、里山オフィスの利用補助などを対応しては	教育委員会	検討します。
8	4-2	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	質問	スポーツ大会の内容について	教育委員会	秋の体育祭、春のジョギング大会、冬のスケート大会。各スポーツ団体の施設利用。体育祭は、分館対抗として行ってきた。参加者・役員の負担も、コロナ禍もあり開催が難しくなってきた。今後は、どういう形で行っていくか検討中。
9	4-2	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	要望	少年野球やサッカーチームの育成会はあるのか。また、こういった活動について、朝日村はいい施設が整っているため積極的に行ってほしい。	教育委員会	児童数の減少もあり、難しいところもある。
10	4-2	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	提案	図書館について 貸出冊数が減少している。塩尻は積極艇に貸出を推進している。朝日は、図書館活動が控えめに感じる。積極的な方向に検討してみてもは。	教育委員会	一回の貸出冊数を増やしたり、システムの導入なども行っている。県のデジ図書信州のPRと並行しつつ図書館のPRをしていく。
11	4-2	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	提案	公共施設は、村の方針に作用されやすい。図書館自体、感染リスクの高い場所ではないため、システムどうこうではなく開放してもよい施設はありとおもわれる。	教育委員会	検討します。
12	4-2	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	質問	図書の整備について、コスト縮小となっているが、買う本を減らしていくのか。	教育委員会	新刊の更新は適宜行っているが、古い本の管理が難しくなっているため、縮小としている。
13	4-2	誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくります	意見	村内のスポーツ公共施設は観光の面からも必要でしょうが、時代にそぐわない利用者の少ない施設は廃止などを考えるべきでは	教育委員会 産業振興課	観光ビジョンに基づき、各施設の利用状況等把握し継続・廃止を決定してまいります。（産業振興課）
14	5-1	高齢になっても自分らしい生活や活躍ができる社会環境をつくります	質問	地域ケア会議の開催数の減少理由について、またオンライン開催の是非について	住民福祉課	コロナ禍の影響。参加者がサービス事業者等が多く開催できていなかったが。今年度はできる限り開催する。オンライン開催はまだ検討していない。

NO.	施策	施策内容	項目	評価委員からのコメント	担当課	村の考え方・回答（案）
15	5-1	高齢になっても自分らしい生活や活躍ができる社会環境をつくります	質問	地域サロンの内容と、在宅看護率について	住民福祉課	在宅介護率は、計画の調査のタイミングで出しているもの。次回は令和5年度に予定。地域差アロンは、地区ごとにボランティアによるお茶会を行っている。
16	5-1	高齢になっても自分らしい生活や活躍ができる社会環境をつくります	提案	高齢者の一歩手前向けの対策が重要ではないか。（認知症等の介護が必要になる前の方たちへの支援）	住民福祉課	介護予防教室やずく楽クラブ等を行っている。参加者が少ないのが課題。
17	5-1	高齢になっても自分らしい生活や活躍ができる社会環境をつくります	提案	コロナ感染対策として、体力をつける・運動を取り入れるのがよいのでは。	住民福祉課	検討します。
18	5-1	高齢になっても自分らしい生活や活躍ができる社会環境をつくります	意見	高齢世帯・一人暮らし世帯のケアも大事だが、子供が仕事に行き、昼間一人である世帯などのケアを。いろいろな制度を知らない世帯もあると思うのでサービスから漏れないように	住民福祉課	検討します。
19	5-2	障がいのある人の自立や自分らしい生活の実現へ向けた支援の充実	要望	農福連携など、障がい者への支援を行っている事例もある。KPIに加えるなど是非検討してほしい。	住民福祉課 産業振興課	相談を受けたうえで、希望があれば事業者へつないでいる。村としても推進していきたい。
20	5-2	障がいのある人の自立や自分らしい生活の実現へ向けた支援の充実	質問	障がいのある方の一般企業への就労についての具体的な事例について	住民福祉課	一般企業への就労のための訓練施設がある。知的障がいや身体的障がいなど様々な方が、一般の事業所へ移行している。
21	5-2	障がいのある人の自立や自分らしい生活の実現へ向けた支援の充実	質問	村単独では困難な事例について広域で支援できる体制とは、どんな困難や取組を進めているのか。	住民福祉課	子どもへの支援例だと、医療ケアが必要な人は村内には少なく体制を整えずらいが広域だと体制が整っている部分があるのでその中にいれてもらいサポートしていく。小さい村だと、支援に限界もあるので広域で取組むことが必要。

NO.	施策	施策内容	項目	評価委員からのコメント	担当課	村の考え方・回答（案）
22	5-2	障がいのある人の自立や自分らしい生活の実現へ向けた支援の充実	提案	村内の森のこびとやアグリチャレンジセンターでも障がい者（の労働者）を必要としています。障がい者の雇用に積極的な企業の誘致を	住民福祉課	検討します。
23	5-3	誰もが人権が尊重され、自分らしく活躍できる社会環境をつくります	質問	ワークライフバランスについて、課題を抱えている。朝日村ではどのような取組をしているのか。	産業振興課	実際、人権の尊重について担当している職員はいない。広報・啓発のみしかできていないが、全庁を持って取り組む意識は持っている。
24	5-3	誰もが人権が尊重され、自分らしく活躍できる社会環境をつくります	提案	働き方改革へ積極的な企業への支援も検討してみてもは。	産業振興課	人権尊重に向けた取組み実態や支援制度について確認します。
25	6-1	保健・医療が充実し、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境をつくります	質問	村内開業医の減少についての対策・課題について	住民福祉課	現在、内科医が1人。先生も含めた話し合いの場を設けている。具体的な部分は未定。
26	6-1	保健・医療が充実し、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境をつくります	質問	KPIの達成値がすべて減少している。このことについて。	住民福祉課	コロナ禍の影響もうけている。一部検診は、医療機関とも連携して取り組めないか検討中。
27	6-1	保健・医療が充実し、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境をつくります	質問	村内開業医の数について（KPI）	住民福祉課	内科医が1人、歯科医が2人。朝日村で開業してくれる人が出てくるかはわからない。
28	6-2	誰もが共に支えあう「地域共生社会」をめざします	質問	支えあう意識の醸成の総合評価がDとなっているが、要因は。	住民福祉課	コロナ禍の影響だとは思うが、確認する。昨年も同様の質問あり。

NO.	施策	施策内容	項目	評価委員からのコメント	担当課	村の考え方・回答（案）
29	6-2	誰もが共に支えあう「地域共生社会」をめざします	質問	公民館活動について、若い委員はいるのか	教育委員会	スポーツ推進委員や、体育部にはいる。役員のなり手が少ないことが課題。
30	6-2	誰もが共に支えあう「地域共生社会」をめざします	質問	リーダー育成についての現状と、今後の展望	教育委員会	コロナ禍で活動がしづらい状況。各講座から徐々に進めていく。
31	6-2	誰もが共に支えあう「地域共生社会」をめざします	質問	地域における福祉活動やボランティア活動の参加を促すことについて、KPI上で成果は上がっているが、具体的にどんな取組を行っているのか。	住民福祉課	社会福祉協議会で、ボランティアの意識の向上。若い世代の参画が課題。引き続き社協と連携していく。
28	6-3	村民の命と財産を守る防災・防犯対策を推進します	質問	近年の犯罪の発生状況について	総務課	最近は、大きな犯罪はない。過去には、不審者、特殊詐欺、空き巣等の事例があった。
29	6-3	村民の命と財産を守る防災・防犯対策を推進します	意見	近年の自然災害の危険度が増している。防災への取組について充実を。村内の急斜面には丈の高い木等多い。十分注意を。	総務課	全国的に被害の事例はある。警戒区域を抱えているので、早めの非難の周知・体制の構築を進めていく。
30		全体を通して	意見	出生率について、全国的にも大変な状況。総合計画以上の取組も必要	企画財政課	検討します。
31		全体を通して	要望	施策評価シートの記載の仕方の工夫を。各年度の取組、課題成果がわかりやすいように	企画財政課	検討します。

NO.	施策	施策内容	項目	評価委員からのコメント	担当課	村の考え方・回答（案）
32	6-2	誰もが共に支え合う「地域共生社会」をめざします	質問	D評価の事業について、理由を求める。 「住民福祉活動のためのセミナー、フォーラム」 「地域づくりリーダー育成のための講座」	住民福祉課	既存の事業として講演会等を実施してきたが、住民福祉課単独での実施であった。施策を考えると、福祉だけでなく、子ども・障がい・介護・生活困窮等、幅広い対象者（全世代、多分野）に対する事業を実施することが目指されるものになる。そこで福祉関係だけでなく、多分野に広がるように視点を変えて、事業組立てをしていきたいため。
33	6-2	誰もが共に支え合う「地域共生社会」をめざします	質問	農福連携の取組みについて、農家の中では需要が増えてきているが、村外の施設（団体）との取組となっている。村内に取組める施設（団体）があれば支援してはいかがか。	住民福祉課	朝日村で障がい団体として挙がるのは「もりのこびと」。団体自身でパン工房やものづくり等展開している状況はあるが、農業立村の朝日村として、行政としては農業という社会資源の場にも参画いただけるとありがたいと考えている。